

理科センターだより

佐渡市立理科教育センター

<https://www.city.sado.niigata.jp/site/risen/>

令和4年6月21日 No.4
〒952-1325 佐渡市窪田
TEL 0259-51-4649
FAX 0259-51-4650
E-mail sadori@sado.ed.jp

研修会報告（5・6月）

※ 各研修会資料はTeams内に入っています。ぜひご活用を！

指導基礎研修会 小5 理科

5月19日（木）



「メダカの観察」「種子のつくり」「天気」「流れる水のはたらき」等の指導方法や実験・観察のポイントを研修しました。顕微鏡やろうとの使い方、データ画像の処理等も確認しました。

指導基礎研修会 小4 理科

5月26日（木）



小学校4学年理科の1年間の授業の進め方を研修しました。水や空気のあたたまり方ではスモークマシンの効果的な利用、月の動きの学習におけるタブレットの活用等が好評でした。

指導基礎研修会 小3 理科

6月2日（木）



こん虫の観察では、タブレットのカメラレンズに取り付ける拡大レンズのアイデアが好評でした。安価で買えるので児童数が多くても対応できます。タブレットに付けてもチョウの卵がかなり大きく撮影できます。

ICT 活用研修会（共同編集編）

6月9日（木）



Teams内でExcelを活用したデータ処理やPowerPointによる共同編集について研修しました。金井中学校の村田健輔先生から、ご自身の授業実践に基づく活用方法を紹介していただきました。参加された先生方からも「すぐ授業で活用できそうだ」という感想が聞かれました。

第1回 佐渡学研修会 里山の植物研修会 6月3日(金)



佐渡の植生を通して環境問題や自然保護について熱く語ってくれました。

中川先生のすさまじい知識量と造詣の深さにみんな感動です。

旧西三川笹川地区の里山の植物に研修を行いました。今年度も植物の専門家である中川清太郎先生をお招きし、貴重なお話を聞くことができました。総勢18名で40種以上の植物を観察しそれらにまつわるいろいろなお話を中川先生から聞くことができました。参加された先生方も大満足の1日でした。次回を期待する声も多数聞かれました。

科学研究・科学作品を支援するポイント

夏休みまであと一ヶ月。夏休みといえば「科学作品」や「科学研究」です。その支援のポイントを以下に載せました。

※ 理科センターTeams内にも自由研究の資料があります。



1 見通しをもたせる。

どのようにゴールさせるか全体の構想をもたせましょう。期間内にまとめる見通しです。追究の筋道を想定できれば、具体的な支援が可能になります。

2 子ども自身に疑問をもたせる。

児童生徒が「疑問」をもつように仕向けましょう。「これってどうして?」「答えを知りたいな!」「もっと分かるとすごいね!」などの教師の働きかけが大切です。

3 専門家に関わらせる。

専門家や達人の話が、児童生徒の知的好奇心を高めてくれます。児童生徒が主体的に外部の人に相談できる場を設定してやりましょう。理科センターでも同定会や研究サポートデイを設定しています。ぜひ、勧めてください。

4 相談や確認の場を設定する。

的確なアドバイスはもちろん、研究過程のナビゲーションが大切です。教師の想定と児童生徒の研究の進み方が離れていないか、軌道修正が必要か、時々チェックしてあげましょう。

5 まとめ方を教える。

まとめ方を教えることが大切です。データの処理、データを分かりやすく図や表で表現させるために、見本となるものや資料を与えて技能を身に付けさせましょう。

6 感動や驚きを伝えさせる。

結果を並列に羅列、表現するのではなく、ポイントを強調してまとめるようにさせるとよいでしょう。発展的な疑問を含めて、感動や驚きの体験談的な内容になると、読み手や聞き手にとってより分かりやすいレポートになります。

科学研究等のための「サポートウィークや同定会の案内」チラシを各校に配布しました。そちらも参考に児童生徒の参加を勧めてください。